

令和3年度(2021年度)豊中市バリアフリー推進協議会(書面開催)

(意見取りまとめ)

関連資料	意見内容	意見に対する回答
全般	道路の改修・改善工事、エレベーターの設置工事、学校や公園のトイレ設置、点字ブロックの敷設・改善などバリアフリーが推進されているのがよく感じ取れました。ありがとうございます。これからも市民からの要望があった際には速やかに推進してほしいです。	(豊中市) 豊中市では、道路、建築物、公園等の分野ごとに日々バリアフリー整備に取り組んでまいりました。今後もこれらの取り組みを継続し、市民の方からの要望に速やかに対応できるよう努めてまいります。
資料8-1	大阪モノレールでは可動式ホーム柵の設置が進められていて嬉しく思います。ぜひ、阪急電鉄にも転落事故を防ぐためにも設置を進めて頂きたい。視覚障害者にとっても必要不可欠なものなので一日も早くお願いいたします。	(大阪モノレール) 可動式ホーム柵については、令和2年度(2021年度)に3駅設置し、令和3年度(2022年度)に計画している3駅への設置をもって、全18駅への設置が完了します。今後もバリアフリーのさらなる推進を図るため、駅設備やサービスの充実を検討してまいります。  (阪急電鉄) 弊社では、平成30年度(2018年度)の十三駅3・4・5号線での可動式ホーム柵供用開始以後、令和2年度(2020年度)に神戸三宮駅にて供用開始し、現在は春日野道駅にて可動式ホーム柵の設置工事を実施しておりますが、今後更に可動式ホーム柵の設置を推進してまいりたいと考えております。 現在社内にて、全駅を対象とした整備計画を立案しておりますが、整備には一定の期間を要しますことから、各駅の整備順序や時期を決定したうえで、計画的に可動式ホーム柵の設置を進めてまいりたいと考えますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

(総括)

<p>近畿大学 名誉教授 三星 昭宏</p>
<p>全般的に豊中市のバリアフリーは頑張っているとの評価を受け今後ともすみやかに推進してほしいと要望されました。今後国法や条例で義務・推奨とされているバリアフリー化をさらに越えたレベルの高い丁寧なユニバーサルデザインを指向してほしいと思います。 公共交通ではやはり可動式ホーム柵整備を急ぐよう要望が出されました。可動式ホーム柵を設置したホームでは視覚障害者や健常者の転落事故はゼロになっています。一日も早くホーム柵設置が実現するよう関係機関は努力することを要望します。</p>
<p>大阪大学大学院人間科学研究科 未来共創センター 講師 石塚裕子</p>
<p>豊中市をはじめ各事業者が基本構想に基づき着実に整備に取り組まれてきたことに敬意を表します。またバリアサインや住居地区のバリアフリーなど、市域全体のバリアフリー化に向けた大切な取り組みだと思います。ハード整備は活用されなければ意味がなく、基本理念にあるように出かけたくなるまちとして、ソフトの取り組みを充実させていくことが必要だと思えます。</p>